

リニア中央新幹線の全線開業と「奈良市附近駅」の設置が15年後に迫ってきました。

今後さらに大きく発展する本県の姿を、現実のものとして構想し、実現していくため、「奈良新『都』づくり戦略2022」をとりまとめました。

令和4年度予算では、この戦略を土台に知恵と工夫を凝らし、諸施策を実行していきます。

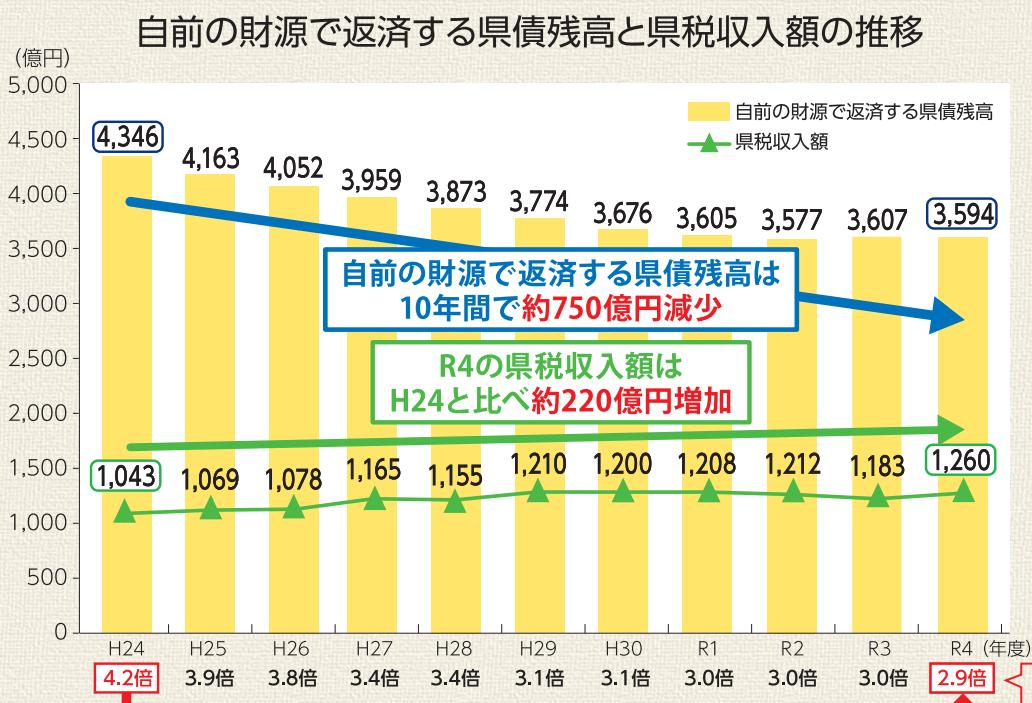
令和4年度予算額 5,503億円

15年後のリニア中央新幹線全線開業を見据えた取り組み

- ① リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定
- ② 大規模広域防災拠点の整備
- ③ リニア中央新幹線一関西国際空港接続線の具体化
- ④ 大和平野中央スーパーシティ構想の実現
- ⑤ 京奈和自動車道の全線概成など

一体的に
進めて
いきます

引き続き財政の健全性を維持しています



令和4年度予算と「奈良新『都』づくり戦略2022」

これからも
どんどん
よくなる奈良

奈良新『都』づくり戦略2022

令和4年度の主な取り組み

I 栄える「都」をつくる

京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺の産業集積地を形成



京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺

～奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業しやすい奈良県にする～

政策条例
を制定

地域における人材育成、
就労の促進、再就職の支援



オンライン研修



企業実習での様子

雇用予定型職業訓練(リカレント教育)イメージ

II 賑わう「都」をつくる

平城宮跡歴史公園の整備



歴史体験学習館のイメージ

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

奈良公園周辺の魅力向上



吉城園周辺地区の整備イメージ

III 愉しむ「都」をつくる



大規模広域防災拠点の整備

I期: 5haの平場



II期: 600m級滑走路



III期: 2,000m級滑走路



リニア中央新幹線の建設に伴う発生土を活用します。

整備イメージ

～県民が安心して快適に暮らしつづけられる奈良をつくる～

政策条例
を制定

奈良っ子はぐくみプロジェクトの展開



なら歴史芸術文化村での幼児向けアート・音楽プログラムイメージ



なら歴史芸術文化村



IV 便利な「都」をつくる



京奈和自動車道の整備



大和御所道路 檜原市曲川町

~県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる~

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線



リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想

V 健やかな「都」をつくる

政策条例
を制定

福祉の奈良モデルの推進

困りごとを抱える住民に寄り添い、“伴走”する意識

住民の
困りごと

世帯の
状況を
包括的に
把握

●課題見極め
●支援策検討
●支援機関等
につなぐ

●福祉制度
●伴走支援
●地域の見守り
居場所づくり

困りごとの把握から適切な支援へとつなぐ仕組みのイメージ

~健康寿命日本一を目指す、高齢者、障害者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域をつくる~

まほろば健康パークの機能強化



整備イメージ

①乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン（6ヶ月～5歳）

②子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン（3～10歳）

③子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン（8～15歳）

VI 智恵の「都」をつくる

「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推進



飛鳥宮跡



世界遺産ジャーナル

~すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる~

国際交流の強化・拡大

インドネシア共和国・西ジャワ州での東アジア地方政府会合の開催

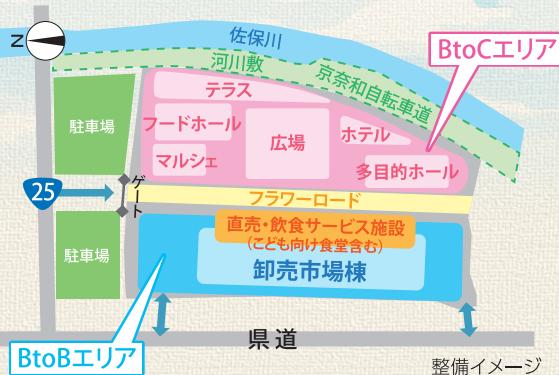


西ジャワ州との会合開催 合意覚書締結

VII 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、脱炭素エネルギー政策、森林を護る施策を進める～

中央卸売市場の再整備



奈良県フォレスター制度の確立



フォレスター・アカデミー実習風景

VIII 誇らしい「都」をつくる

政策条例
を制定

県と市町村協働の
南部・東部地域の振興
(「拠点の形成・結節」と「人材の育成・確保」)



奥大和移住交流センター
「engawa」



クリエイティビスクール

～奈良のポテンシャルを最大限に活かした
まちづくりを進め、地域の新たな未来を切り開く～



大和平野中央スパーシティ構想の推進

A. 知的な大和平野の創造

- ①県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ
- ②大和平野地域雇用戦略の実行
- ③就学前教育～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～
- ④地域のリカレント教育

⑨安全・安心まちづくり

⑩農業の省力化、効率化、高度化

D. 脱炭素社会への挑戦

- ⑪大和平野シナッタベルケ構想(エネルギー脱炭素への挑戦)

E. デジタル社会の構築

- ⑫大和平野中央デジタル化の推進
- ⑬行政運営効率化と地方政治の見える化

F. 推進体制の整備

- ⑭周辺県施設の整備運営との連携
- ⑮推進組織の構築(PPPの実行)

構想に盛り込むテーマ

IX 爽やかな「都」をつくる

県立医科大学周辺のまちづくり



県立医科大学の教育・研究部門の移転にかかる
新キャンパス先行整備イメージ

～奈良が持つ行政資源を総動員し、
効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、
行き届いた行政サービスを届ける～

奈良デジタル戦略の推進



役場に行かなくても
スマートフォンですべてが完結

スマートフォンを活用した住民サービスの提供イメージ

新型コロナウイルス感染症対策

県民の皆さんの命を守ることを最重点目標とし、社会・経済活動と日常生活の維持との両立を目指します。

予算額
516億円

令和4年度
156億円

令和3年度2月補正
360億円

① 長期戦を想定しながら今後の感染拡大に備えた重点取り組み

病床・宿泊療養施設の確保

R4年度 5億円

R3年度2月補正 312億円

- 入院病床511床の確保
- 宿泊療養施設1,083室の確保 など
(確保数は令和4年3月1日現在)



入院病床



宿泊療養施設

福祉施設等のクラスター対策

R3年度2月補正 7億円

- 感染症専門医などによる実地指導
- マスク、消毒液などの備蓄支援 など



社会福祉施設コロナ感染対策「こんな時はどうする?」解説集(動画付き)の一部



ワクチン接種の着実な推進

R3年度2月補正 25億円

- 広域接種会場の設置・運営
- 副反応コールセンターの運営 など



県設置の広域接種会場でのワクチン接種の様子

② 基本方針に基づく取り組み

(新型コロナ・発熱患者受診相談窓口の運営、保健所の機能強化、PCR検査体制の確保など)

R4年度 7億円 R3年度2月補正 15億円

③ 新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けた方々への支援

(中小企業への補助や制度融資など)

R4年度 144億円 R3年度2月補正 0.4億円